

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年11月29日

計画の名称	十和田市における循環のみちの実現（重点計画）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	十和田市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	955	A	955	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R03当初	R05末	R07末
1	下水道十和田処理区域内普及率を90.7%（R02）から95.0%（R07）に増加させる。 下水道十和田処理区域内普及率 処理人口（人） / 下水道十和田処理区域内行政人口（人）	90%	93%	95%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	新設	北部第2幹線	A=4.4ha、 200~250、L=1.6km	十和田市						308		-	
	A07-002	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	新設	北部第2地区 枝線	A=7.0ha、 200、L=1.80km	十和田市						227		-	
	A07-003	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	新設	北部第1地区 枝線	A=1.8ha、 200、L=0.40km	十和田市						110		-	
	A07-004	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	新設	北部第5地区 枝線	A=1.3ha、 200、L=0.43km	十和田市						25		-	
	A07-005	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	新設	北部第6地区 枝線	A=8.5ha、 200、L=1.90km	十和田市						148		-	
	A07-006	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	新設	北部第7地区 枝線	A=0.1ha、 200、L=0.02km	十和田市						3		-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	新設	東部第5地区 枝線	A=2.6ha、 200、L=0.48km	十和田市						53	-	
	A07-008	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	管渠(汚水)	-	調査・設計等	幹線、L=1.6km	十和田市						81	-	
												小計						955	
												合計						955	

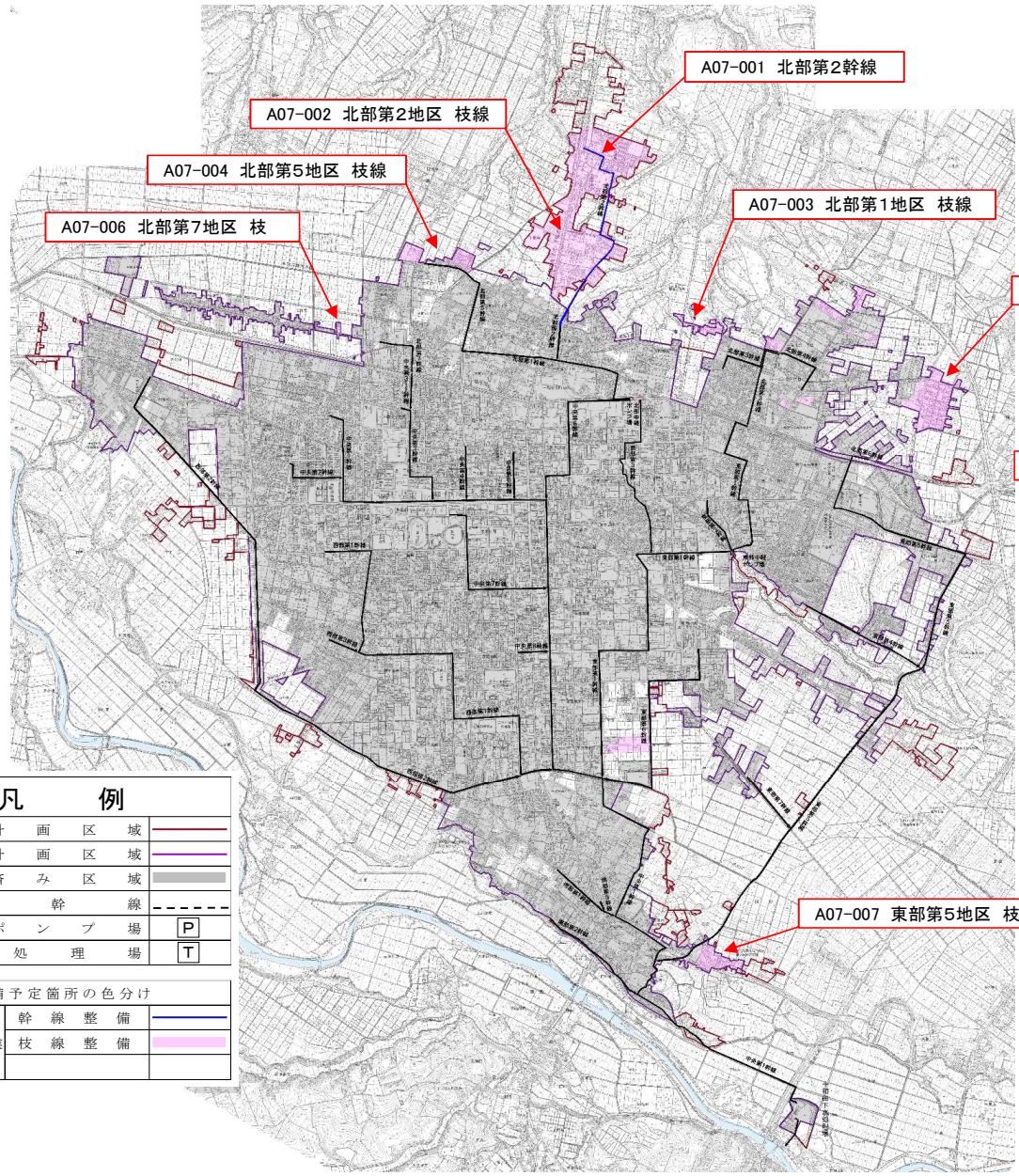
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	60	81	134		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	60	81	134		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	60	81	134		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	十和田市における循環のみちの実現(重点計画)		
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)	交付対象	十和田市

十和田処理区



凡 例	
全体計画区域	
事業計画区域	
整備済み区域	
既設幹線	
中継ポンプ場	
終末処理場	
整備予定箇所の色分け	
基幹事業	幹線整備
	枝線整備

事前評価チェックシート

計画の名称： 十和田市における循環のみちの実現（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 下水道事業計画による事業認可計画面積 1,703haのうち令和2年度末で1,587haが整備されており、引続き整備促進を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	
I. 目標の妥当性 地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした整備計画の目標を立てている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は、当市の下水道の普及状況を的確にとらえており、未普及解消に適した指標である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 事業内容は下水道施設(管渠)の整備・運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 基幹事業の管渠と市単独費の端部枝線(単独管)整備を一体的に行うことにより、より一層の下水道未普及解消を図ることができる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 (管きょ)地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

他事業である集落排水事業、合併浄化槽事業と連携し、市全体の汚水処理施設設備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指すこととしている。

○